

「裁判員制度反対」

高山弁護士が講演

名古屋、市民団体

裁判員制度に反対する市民団体「裁判員制度はいらない！大運動」が17日、名古屋市内で講演会を開き、団体呼びかけ人の高山俊吉弁護士が「国民の多くは制度にノーと言っており、その消極世論は制度の破綻を意味している。廃止に向けて今後も絶対反対を言い続けたい」と訴えた。

講演した高山弁護士は「報

道機関の世論調査では、参加したくないと答えた人が8割いる。国の施策と国民の声とがこれほど対立する事態は過去に例がない」などと批判。また、裁判員の守秘義務についても「評議でひどい思いをしたとしても、他人に言えば罰せられるかもしれない。記者会見でも事実を言えないというのはどうなのか」と疑問を呈した。閉会后、参加者らは「ストップ！裁判員制度」と書かれた横断幕をかかげて、同市中心街をデモ行進した。